

2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際 > エ 活動プログラムの実践

<小学校> 活動プログラム②トラブル未然防止のスキル



ペアやグループを意図的に構成して、実践しました！

1 活動プログラムの展開案において、グループでの活動がある場面を確認しました。

【活動プログラム3時目の展開案より】		【活動プログラム4時目の展開案より】	
<p>(1) 練習1 【10分】</p> <p>【スライド11】</p> <p>○最初は、動画の2つ目の場面【モデリングⅡ】(練習1シナリオ)を演じてください。</p> <p>○4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて交代で練習します。</p>	<p>・ワークシートと役割カード、ニコマークのセットを配付する。</p> <p>・役割の交代の仕方提示する。「話す役」「聴く役」「見守る役」の役割カードを前に掲げ、時計回りに役割を交代するようにする。</p>	<p>(1) 練習1 【10分】</p> <p>【スライド9】</p> <p>○最初は、動画の3つ目の場面【モデリングⅢ】(練習1シナリオ)を演じてください。</p> <p>○4人グループになり、「話す役」と「聴く役」と「見守る役」(2人)に分かれて練習します。</p>	<p>・ワークシートと役割カード、ニコマークのセットを配付する。</p> <p>・役割の交代の仕方提示する。「話す役」「聴く役」「見守る役」の役割カードを前に掲げ、時計回りに役割を交代するようにする。</p>
<p>5. 本時の学習を振り返る。 【5分】</p> <p>【スライド15】【スライド16】</p> <p>○今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。</p> <p>【スライド17】</p> <p>○今日の学習の気付きや感想を发表しましょう。</p> <p>・友達の聴き方が悪くてムカッとすることもあるので、4つのポイントに気を付けたい。</p> <p>・友達がうなずきながら話を聞いてくれたので、気持ちよかったです。</p> <p>・今日学習したことを生かして、トラブルを減らしたい。</p>	<p>・ふりかえりシートを配付する。</p> <p>・ふりかえりシートに記入したことをグループで発表し合った後に、全体の場で発表させる。</p> <p>・机間指導をしなから児童が書いている内容を確認して、発表する児童がない場合は、それを紹介してもよい。</p>	<p>5. 本時の学習を振り返る。 【5分】</p> <p>【スライド13】【スライド14】</p> <p>○今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。</p> <p>【スライド15】</p> <p>○今日の学習の気付きや感想を发表しましょう。</p> <p>・やさしく話すことができてよかった。</p> <p>・ポイント以外に笑顔で話すことを頑張った。</p> <p>・やさしく話したら、相手もやさしく返してくれたということが分かった。</p>	<p>・ふりかえりシートを配付する。</p> <p>・ふりかえりシートに記入したことをグループで発表し合った後に、全体の場で発表させる。</p> <p>・机間指導をしなから児童が書いている内容を確認して、発表する児童がない場合は、それを紹介してもよい。</p>

学習活動4
聴き方のポイントに気を付けながら練習する

(1) 練習1
(2) 練習2

学習活動5
本時の学習を振り返る

学習活動4
話し方のポイントに気を付けながら練習する

(1) 練習1
(2) 練習2

学習活動5
本時の学習を振り返る

資料1 活動プログラム3、4時目におけるグループ活動の場面



2 活動プログラム①の実践後に「グループ活動アンケート」(1回目)を実施しました。

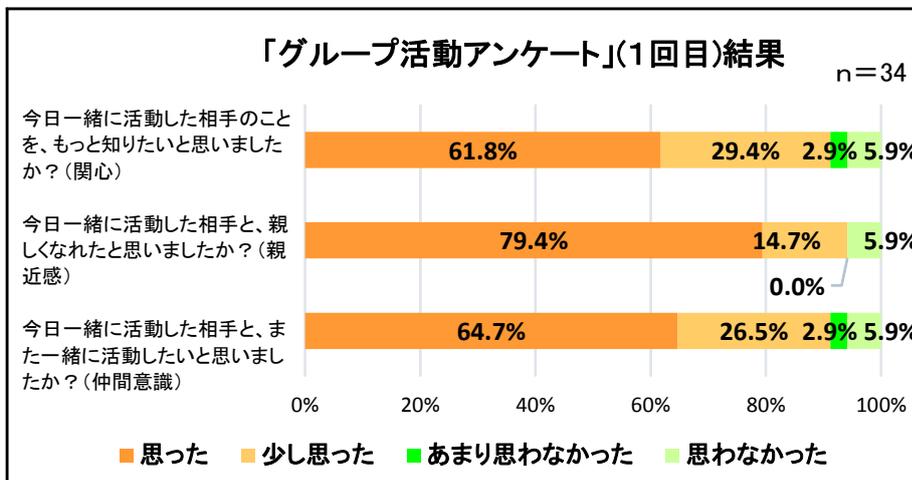


図1 「グループ活動アンケート」(1回目)結果



3 学習のねらいと「グループ活動アンケート」(1回目)の結果から、以下のようなグルーピングのための視点を挙げました。

- アサーションスキルやソーシャルスキル・トレーニングの学習を通じた、自他尊重の自己表現のスキルを学ぶため
 - ・相手のことを考えて発言することができる児童をグループ活動のモデルとして、各グループに配置する。
 - ・「グループ活動アンケート」(1回目)において、活動プログラム①のメンバーと異なる友達とも活動したいといった意見も多かったことから、活動プログラム①のメンバーと異なる児童同士を組む。
- グループでの活動が停滞しないようにするため
 - ・友達との関わりが苦手な児童と、相手のことを考えて発言するなどの気遣いができる児童を組む。
 - ・話し方のスキルの定着度が偏らないような児童同士を組む。
 - ・同じトラブルの場面を経験したり、トラブルが継続したりしている児童同士は組まない。



4 「PIGシート①」を活用して、「グループ活動アンケート」(1回目)の結果と担任の観察を基にして総合的にアセスメントし、グルーピングを行いました。

※資料2は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

【取扱注意】													
ピグ PIGシート① (小学校)			振返①	振返②	グループ活動アンケート [実施日 ○/○]			理由などの 特記事項	担任等の観察 [実施日 ○/○]			グループの編成	
No.	氏 名		学習に進んで参加できた	学習に進んで参加できた	活動した相手をもっと知りたいと思う	活動した相手と親しくなれたと思う	活動した相手とまた一緒に活動したい		押しつけさん	もしもしさん	さわやかさん	怒りについて知る	※グループ編成に関しての担任の見取りを記入する (例) 要支援群(「QU」アンケート)、不登校傾向、○○さんとは×、事前説明が必要、◇◇部に在籍 など
1	○○	○○	3	4	3	4	3			◎	A		H
2	○○	○○	4	4	4	4	4		✓		G	不満足群	H
3	○○	○○	4	4	3	4	3		✓		I	○○とNG	A
4	○○	○○	4	4	2	3	3	✓	自己中心的		E		I
5	○○	○○	3	4	4	4	4				D		E
6	○○	○○	4	4	4	4	4			◎	G		C
7	○○	○○	4	4	4	4	4				A		G
8	○○	○○	4	4	4	4	4				H		B
9	○○	○○		4	4	4	4			✓	D		F
10	○○	○○		4	4	4	1		他の子ども組みたい		F		A

資料2 「PIGシート①」を活用したグルーピングの実際



5 実際の座席は、以下の点に気を付けて配置しました。今回、配慮した児童は8名です。

※資料3は、個人情報保護のため、一部データを加工しています。

- ・ 配慮を要する児童は、気遣いができる児童の隣に配置する。
- ・ これまでのグループ活動において友達同士のトラブルがあり、関係が修復されていない児童同士の組合せを避ける。
- ・ 配慮を要する児童を含むグループは、可能な限り教室前方に配置する。

				★	◎	◎(配慮)(児童)	★(配慮)
				非承認			
		かわわりややん	〇〇とNG		確認知	ゆったり	
★	◎	◎	★			★	
◎	★	〇〇とNG	トラブル多い			不満定・ち動	
★				◎	★	◎	
要支援				しっかり者	要支援・確認知 〇〇とNG		
	◎	★				★	◎
〇〇とNG		要支援		〇〇とNG	要支援・確認知		要支援・確認知
教卓							

【座席表上の記号】

◎(気遣いができる児童)

- ・ 相手のことを考えて発言ができる
- ・ しっかり者
- ・ さわやかさん

★(配慮を要する児童)

- ・ 押しつけさん
- ・ もじもじさん
- ・ トラブルが多い

資料3 座席配置の実際



6 実際の授業は、以下の通りです。

過程	●配慮の実際	・児童の反応や教師の気付き
【授業前】	<p>● 一方的に自分の考えを押し付けるなど友達との関わりが苦手な児童(配慮した児童)がいるグループに、相手のことを考えて発言することができる児童を優先的に配置することとした。さらに、配慮した児童と相手のことを考えて発言することができる児童がグループ活動の中で話す役と聴く役となるように優先的に座席を配置した。</p> <p>● 授業当日の朝、担任から児童に主な学習内容とそれに伴った座席配置について伝えた。</p>	<p>・ 児童の反応や教師の気付き</p> <p>・ 座席配置については、黒板で学級全体に対して座席表を掲示して説明した。そのため、座席の変更についてはスムーズに進めることができた。</p>
【授業中】	<p>● グループ活動の中で配慮した児童と相手のことを考えて発言することができる児童が話す役と聴く役となって活動に取り組むように役割交代について伝えた。</p>	<p>・ 相手のことを考えて発言することができる児童の姿が配慮した児童にとっての良いモデルとなり、グループ内での充実した学び合いにつながった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>新しい班は前の班より話しやすく楽しかったし、トラブルにならないような話し方を学べて良かった。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>【配慮した児童の感想】</p>



【グループ活動の様子】

<p>【授業後】</p>	<p>●配慮した児童の様子を観察し、必要に応じて声掛けをした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで一方的に自分の考えを押し付けるような話し方しかできなかった児童が、授業後に友達の意見を受け止めて話し合っている姿が見られた。 ・学級通信等で、授業の様子や児童の反応等を家庭に知らせたところ、家庭でもトラブル未然防止に努めていきたいという保護者からの声があった。
--------------	-------------------------------------	--

実践してみたら、このような児童の姿が見られました！

◆授業後の児童の反応(「グループ活動アンケート」・「振り返りシート」より)
 ※配慮した児童は8名(4時目は1名欠席)で、グラフ上に()で示しています。

○グループ活動における児童の友達に対する意識の変化について
 ・「グループ活動アンケート」の質問項目に対する児童の回答の結果
 ※配慮した児童は8名(1名欠席、1名無回答)で、グラフ上に人数()で示しています。

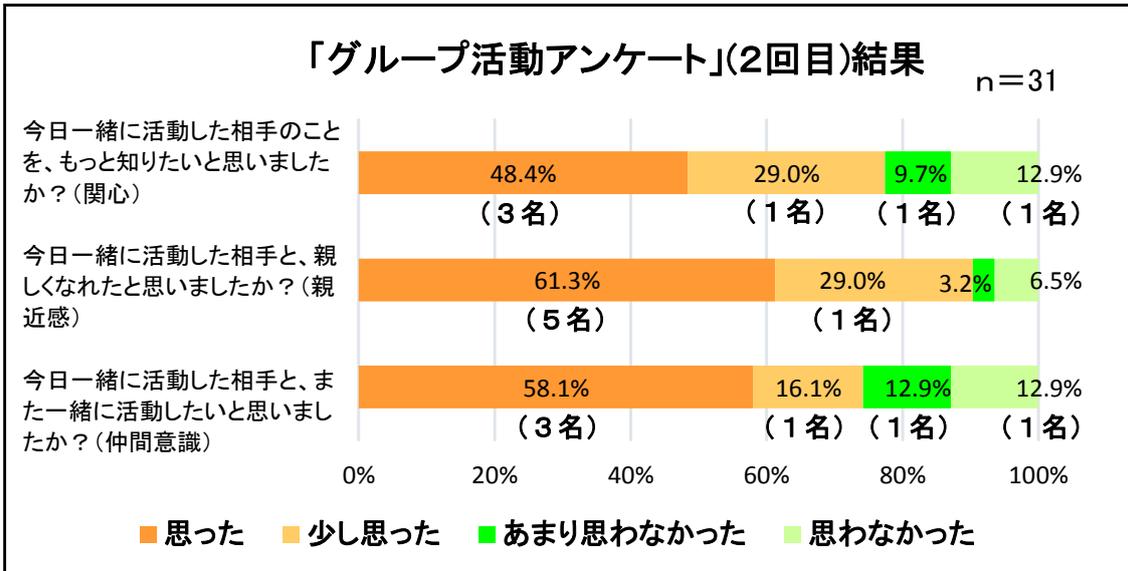


図2 「グループ活動アンケート」(2回目)結果

・配慮した児童の感想



メンバーが変わってもきちんと活動することができて、楽しかったです。

○グループ活動で取り扱った「トラブル未然防止のスキル」の学習について
 ・「振り返りシート」の質問項目に対する児童の回答の結果
 ※配慮した児童は8名(4時目は1名欠席)で、グラフ上に人数()で示しています。

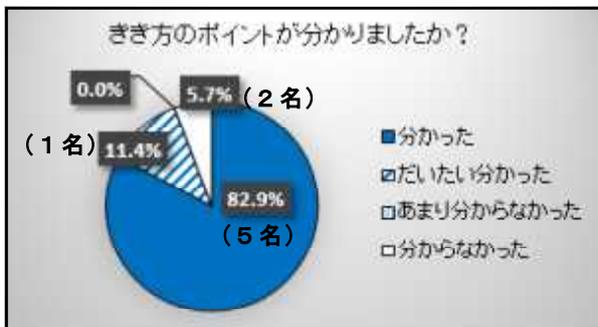


図3 聞き方のポイントの理解について (3時目)

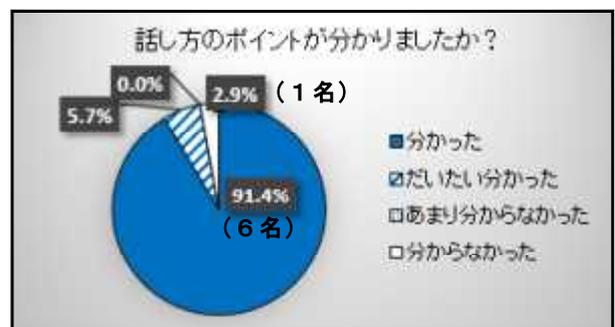


図4 話し方のポイントの理解について (4時目)

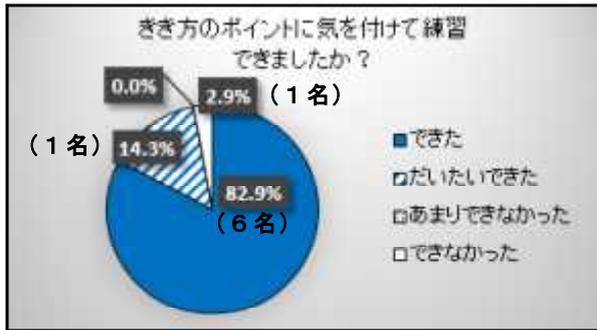


図5 聞き方の練習について(3時目)

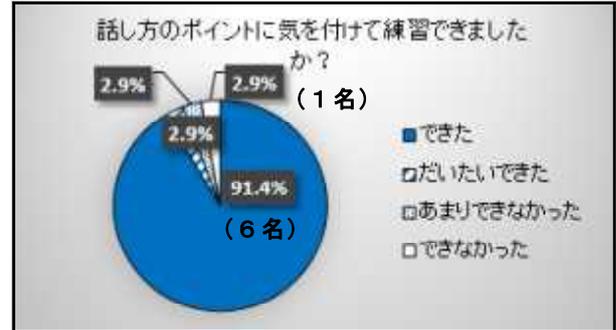


図6 話し方の練習について(4時目)

・児童の感想



聞き方1つで、相手の感じ方が全然違うから、気を付けないといけないなと思いました。



まず自分が話し方をよくしたら、相手も優しくしてくれるのだと感じました。

○グループ活動を取り入れた学習への参加状況と学習内容に対する活用意欲について

・「振り返りシート」の質問項目に対する児童の回答の結果

※配慮した児童は8名(4時目は1名欠席)で、グラフ上に人数()で示しています。

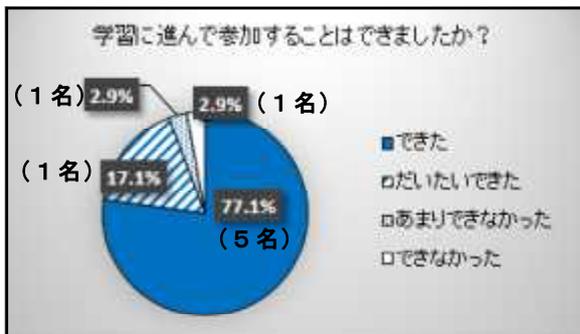


図7 学習への参加状況について(3時目)

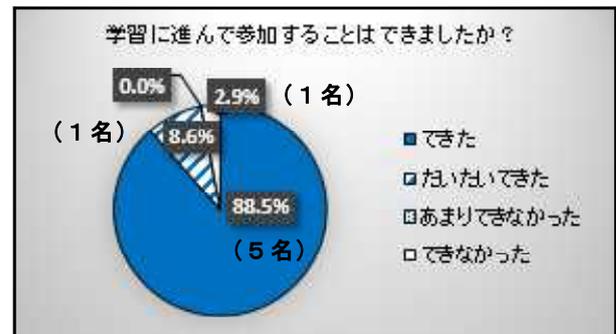


図8 学習への参加状況について(4時目)

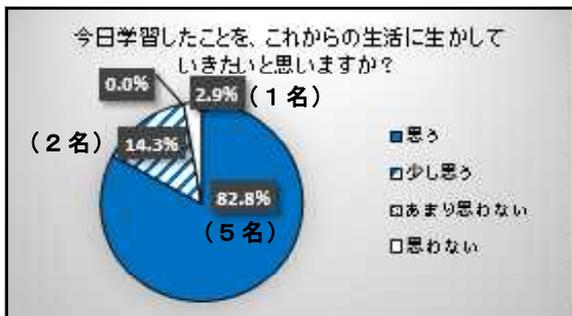


図9 学習内容に対する活用意欲について(3時目)



図10 学習内容に対する活用意欲について(4時目)

・ 児童の感想



聴き方でこんなに気持ちが変わるなんてすごいなと思いました。これからもこの聴き方を続ければ、トラブルもぐっと少なくなると思います。

話し方次第でトラブルがなくなっていくことが分かったので、この話し方をこれからの生活に生かしていきたいと思いました。



◆ 授業後の教師の感想



自分の意見ばかりではなく、相手の意見も受け止めることができるようになった児童もいました。また、「○○と言ったら△△さんは怒るのではないか」など相手の目線に立ち、トラブルになりそうな状況を自分で回避するようなルールをつくるようになった児童もいました。

配慮した児童の「グループ活動アンケート」には、「いつの間にか楽しい雰囲気になっていた」など、意図的なグルーピングを肯定的に受け止めるような記述が見られました。